

5年 国語科学習指導略案

1. 主 題 情報モラル 道徳の内容 4－(1)・人権教育の内容 3－(2)－ア
2. 資料名 ネット社会の歩き方 (HP <http://www.cec.or.jp/net-walk/>)
安心インターネットライフ☆ガイド (一般財団法人マルチメディア振興センター 編集/発行)
3. 目 標 ・情報にも自他の権利があることを知り、尊重しようとする態度を養う。
4. 展 開 (全3時間)

	学習活動	・留意点 ●評価 ○支援
第1時	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報モラルについて知る。 ・インターネットや携帯電話を使用する上で必要なマナーや知識。 ⇒「免許」のようなもの。 2. 「ネットで悪口は要注意」を見る。 ①2人のしたことについて話し合う。 ②本時のポイントを知る。 3. ネットで悪口を書き込むことの問題点について話し合う。 4. 本時のまとめをする。 ・ネット上の情報は拡散する。 ・名前をかくしても犯人をつきとめられる。 ☆ネットに悪口を書き込むことは絶対にしてはいけないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科「豊かな言葉の使い手になるために」の学習内容と関連させて、これからの学習の見通しが持てるように説明する。 ・場面ごとにアニメーションを停止させながら、どう思うか問いかける。 ・「友達の悪口を言う」「友達の悪口を交換日記に書く」「友達の悪口をネットに書き込む」の問題点について考えるよう指示する。 ●インターネットに流れた情報は拡散していくことを理解しているか。(拡散性) ○拡散していくことに気付いていない児童には、「交換日記に書く」と「インターネットに書き込む」ことの違いに目を向けるよう助言する。 ・「友達の悪口を言う」「友達の悪口を交換日記に書く」こともしてはいけないことを踏まえた上で、本時のまとめを行う。 ・次時の資料名「ネットでいじめは人権侵害」を伝え、意欲付けを行う。
第2時	<ol style="list-style-type: none"> 1. 冊子「安心 インターネットライフ☆ガイド」(以下：冊子)を見ながら前時の振り返りをする。 2. 「ネットでいじめは人権侵害」を見る。 ①2人のしたことについて話し合う。 ②本時のポイントを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のまとめを確認し、本時の資料への意欲付けを行う。 ・場面ごとにアニメーションを停止させながら、どう思うか問いかける。

	<p>3. ネットでデタラメの悪口を書き込むことについての問題点を話し合う。</p> <p>4. 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一度拡散した情報を訂正することは難しい。 ☆ネットに悪口を書き込むと人を傷つけることになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「友達から悪い噂を聞く」「ネットで悪い噂を見る」の問題点について考えるよう指示する。 ●ネットに悪口や噂を流すと、それを見た人が軽い気持ちでさらに拡散してしまい、書かれた人が傷つくことに気付いているか。 ○ケンタの気持ちを考えるよう声をかける。 軽い気持ちで書き込んだことがどのようなことにつながるか問いかけながらまとめる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第3時</p>	<p>1. 冊子を見ながら前時の振り返りをする。</p> <p>2. 「当番の仕事」を見る。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ケンタはどうするだろうか。 ②自分だったらどうするだろうか。 <p>3. メールの書き方について考える。</p> <p>4. 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> メールで文章を書くときは細心の注意が必要。 絵文字などで自分の感情を伝えることも大切。 ☆情報モラル=相手の気持ちを考えること 	<ul style="list-style-type: none"> 前時のまとめを確認し、本時の資料への意欲付けを行う。 場面ごとにアニメーションを停止させながら、どう思うか問いかける。 「当番をさぼった相手にメールで注意する」という場面を想定し、どのようなことに気をつければよいか話し合うよう進めていく。 ●口頭で伝える場合と違い、メールで文章を書くには細心の注意が必要なことに気付いているか。 ○いくつかの文章を例示し、受け取る側がどのような気持ちになるか考えるよう声をかける。 ネットで自分の気持ちを伝えるには、配慮や工夫が必要なことをおさえながらまとめる。